

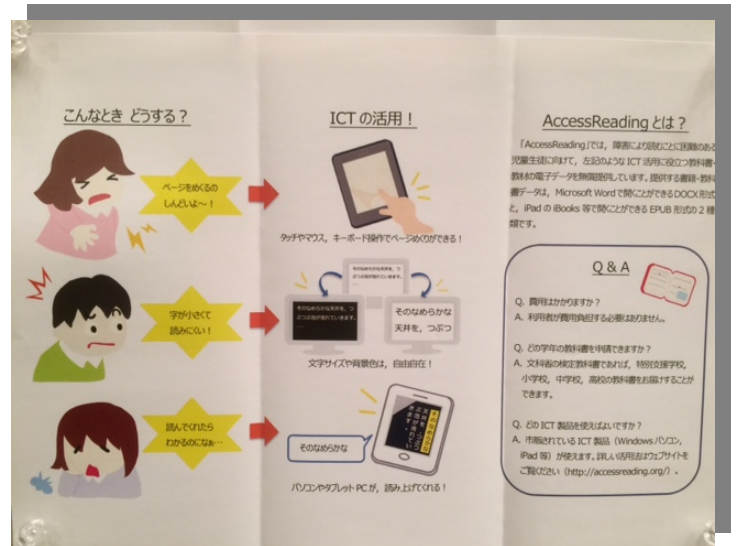


ATAC研修に
参加しました！

ICT(情報通信技術)を生活の中に取り入れることでコミュニケーションがやりやすくなったり、勉強においてもプラスの効果が出ているということです。研修の中では、ipadの活用方法が紹介されました。ipadは“タッチ”と“スライド”で簡単に操作できるため、細かい手先の操作がいらず、障がいをもった方にも気軽に楽しんでいただくことのできる教材だということでした。また、様々なアプリをインストールすることができるので、多くの教材を持ち歩かなくてもすむという利便性もあります。この他にも様々な利点や注意点が紹介されていました。研修以外に、展示会場もあり、主に自社開発したアプリなどが紹介されていました。



ATAC研修に参加させていただきました。
“ATAC”とは、電子情報支援技術(e-AT)とコミュニケーション支援技術(AAC)の組み合わせた言葉です。
講師の方は特別支援学校の先生や大学の先生が多かったです。いくつかの講習に参加させていただきましたが、内容は主に障害児・者にとってのコミュニケーション手段とその環境でした。



ATACとは簡単に言うと「ipadなどのICTを活用して、障害をもった方とのコミュニケーションをより円滑にしましょう」ということだと思います。時代はipadやアプリに移り変わっていると感じさせられる研修でした。

(第6病棟谷合、
文責：第7病棟石井)





9月からピコピコルームに新しい機器が増えました！それは…以前ピコピコにゅーすでデモの様子をお伝えしたクリエイションソフトの「TANO」です！TANOはKinectというセンサーを用いて体の動きを検出し、体の動きや音を使って楽しむソフトです。

【運動】 カテゴリのゲームでは、画面に写った自分の体の映像を使って楽しめます。例えば「花火」では、上から落ちてくるいろいろ



な「花」に触れることで、その場で花火が上がる仕掛けです。

【音】 のカテゴリでは、体の動きではなく音声を使って楽しめます。例えば「カネカネキャッチ」では、空から落ちてくるお金をザルでキャッチするという非常にわかりやすいゲームです。



ただし、このザルは声のする方に反応して移動するので、来て欲しい方向から声を上げなければいけません！来て欲しい方向から声を出して、できるだけたくさん拾えるように頑張りましょう！

【とざん】 のカテゴリでは、Kinectの前で腕振りや足踏みをすることで、動きに合わせて画面の映像が動き出し、まるで映像の中に出てくる場所を散歩しているような気分になれます。山以外にも、公園やお祭りなどの場面が最初から入っています。さらにこの風景は自分で追加することもできるので、オリジナルの場所を増やしていくのも楽しそうです。



病棟の利用者様はご自身で体を動かさない方が多くいらっしゃいますが、病棟スタッフと一緒に体を動かしたり、声を上げたり、楽器を鳴らしたり…いろいろな使い方が考えられますね。他にもたくさんのゲームが入っているので、これからの病棟活動で活用していただけたらと思っています。

(地域連携情報室：神田)

島田療育センター 支援部生活支援室 ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者(入所・外来)の皆様方が、パソコンやタブレットなどのIT機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。